

福岡県労連

KEN~ROREN

2017
2月号
No.124

発行所 福岡県労働組合総連合
〒812-0016 福岡市博多区博多駅南
1-9-8 ケイ・アイビル 2F
☎092-433-1833 FAX092-433-1822
編集発行 福岡県労働組合総連合
福岡県労連 検索 [定価] 1部 10円

非正規討論集会

「働きがいのある人間らしい仕事を」

とき 2017年2月26日(日)
14:00~16:00

場所 福岡県労連 会議室

講演 伊藤圭一(全労連雇用・労働法制局長)

2017 春闘スタート！ 大幅賃上げと安心してくらせる地域を



全労連九州ブロック協議会は、17春闘要請行動を行い、2月6日には熊本にある九州農政局など5団体を訪問。翌7日には、福岡市にある九州経済連合会など8団体を訪問し、要請・懇談を行いました。福岡県労連を始め九州各県労連の代表と国公労連、生協労連、医労連、自治労連などの各産別組合から代表が延べ25名参加しました。



人事院九州事務局に対して要請書を渡す



九電に対して要請を行う参加者

要請先

九州電力本店
九州経済連合会
九州経済同友会
九州経営者協会
九州商工会議所連合会
人事院九州事務局
九州経済産業局
九州防衛局
九州農政局
九州財務局
熊本労働局
熊本県知事
九州地区町村会連合会

要請は、アベノミクスの破たんや働く者の5年連続の賃金の減少、個人消費の低迷、地域経済の行き詰まり、人口減少と地域の格差の進行などが進み、一部の大企業だけが利益を増やし、内部留保を積み増している中、地域を基礎に暮らしを守る共同と中小企業等の支援の強化、持続可能な地域循環型の経済・社会を作っていくことを要請しました。また、九州財務局には消費税の廃止、九州防衛局には、辺野古新基地建設や日出生台演習、佐賀空港へのオスプレイ配備などの諸問題について、九州電力には、玄海・川内両原発の廃炉と当面の安全対策を申し入れました。

要請・懇談は、一部に見解が異なる所もありましたが、持続可能な地域経済や中小企業や地域産業に対する支援や内需の拡大、社会保障や教育の充実など、一致点が多く和やかに行われました。春闘要請行動は、2月16・17日に、福岡地区・北九州地区などが、地元自治体・経済団体などに要請行動を行う予定です。

17春闘で私たちは、パート職員の時間給の引き上げを重点課題に位置付けています。医療職場ではライセンスを持った職種が多く、診療報酬ではその配置の多寡が病院収入に直結する一つの要素になっています。しかし、医療は無資格を含めたチーム医療で成り立っています。需給関係や資格の有無による

1,000円以下のパート労働者をなくす！

医労連 健和会労働組合 書記長 門岡 瞬

格差を縮め、誰でも生活できる時間給をめざします。この間の取り組みで、パート職員の時間給の改善は前進してきましたが、まだ1,000円以下の職種が残されています。まず、私たちの職場から時間給1,000円以下の職種をなくすことに全力を上げます。そして、均等待遇の実現を目指します。



2017春闘 かく闘う！

パート1



最低時給1,000円以上を目指す
エフコープ生協労働組合 書記長 舌間 成実

エフコープでは、昨年10月から、すべての雇用形態で賃金表を統一し、月例賃金での「同一価値労働同一賃金」を実現し、16春闘では、「子育て支援手当」を子ども一人5,000円に増額することができました。

17春闘においては、苦しさを増しているすべての労組員の大幅賃上げを目指し、スト権の確立を背景に、正規20,000円以上、

時給者最低時給1,000円以上のベア要求を組み立てて闘います。また、社会的賃上げの取り組み、日本の平和と労働者・国民の権利と暮らしを破壊する安倍政権打倒のために、全国のなかまと共に闘っています。

非正規と正社員の均等待遇を

郵政ユニオン福岡県協議会 議長 後藤 靖幸

日本郵政グループは、19万人を超える非正規労働者を雇用する日本一の企業グループです。非正規労働者の処遇改善と正社員化は、まさに緊急の課題です。郵政ユニオンは、毎年の春闘を「非正規春闘」と位置づけ、非正規労働者の処遇改善を柱に、ストライキを構え春闘をたたかっています。昨年は非正規労働者もストライキに参加し、名実ともに「非正規春闘」を実現しました。現在、「非正規社員の正社員化と均等待遇を求める要請署名」にも取り組んでいます。県労連のみなさんのご協力よろしくお願ひします。



長時間労働は正と大幅賃上げ
建交労福岡県本部 書記長 緒方 秀樹

17春闘では、建交労県本部は約1300名の春闘アンケートを集約していますが、低単価の中で、トラック労働者の長時間労働の実態が浮きぼりになっています。

人事院勧告が平成11年からマイナス勧告が続き、ゴミ収集運搬の職場では、平成11年以降、仕事量が37%も増えたにも関わらず、平均年収は74万円(12%)も下がっています。

仕事は過密になる中で、賃金は下がる、今の政治や大企業の内部留保の在り方に、17春闘で大いにアピールし労働環境を改善しなければ、労働者は安心して働けない状況に追い込まれます。

建交労は、39,000円の春闘統一要求で賃金回復のたたかいを広げます。

パート2は3月号に掲載します。



住民とともに運動を進める



憲法を守り すべての住民の幸せを目指す

福岡県自治体労働組合総連合 小原 徹也

私たちの組合は福岡県自治体労働組合総連合(略称・福岡自治労連)といい、福岡県内に12単組1,600名の組合員がいます。自治体の正規労働者と公務・公共業務で働く人たちが組織しています。自らの賃金労働条件の闘いと、自治労連の特別な任務として憲法と地方自治の擁護の取り組みを進め、県内すべての61自治体を訪問する憲法キャラバンを行っています。憲法を守り「住民の幸せなくして自治体・公務公共業務労働者の幸せはない」のスローガンにそって幅広く懇談を行っています。

裁判闘争では、四者共闘に結集した渡利美幸さんの職場復帰を求める雇止め裁判や北九州市バス労組の未払い賃金請求裁判などを取り組んでいます。これからも要求実現と組織拡大を車の両輪としてすすめていきます。

県労連17新年旗開き

賑やかに、前進を誓い合って



県労連「17新年旗開き」は、1月12日福岡市博多区のWITH THE ST YLE FUKUOKAで開催され、来賓・各組合か

ら110名が参加しました。主催者を代表して江口謙二議長は、昨年の野党共闘に触れ、「今年は総選挙の年で、更なる発展と勝利で安倍政権の退場を」と、を呼びかけました。来賓のごあいさつを日本共産党・田村貴昭衆議院議員、市民連合の青柳行信代表から受けました。小川福岡県知事、民進党・野田国義参議院議員からメッセージが寄せられ、賑やかに、今年の前進を誓い合いました。

第67回 評議員会を開催 方針と新役員を決定



県労連は、2月4日第67回評議員会を福岡市内で開催し、17県民春闘方針を決定しました。また、新たに役員を補充しました。

副議長 内田 大亮 (福岡地区労連)
事務局長 門馬 睦男 (県医労連)
幹事 木村 拓史 (福岡地区労連)
同 安武 博子 (自交総連)

補充された役員(敬称略)

今年の春の県民集会は、「アベ政治を許さない in 福岡県 1万人集会」として幅広く開催されます。

安保法制、沖縄、原発、格差と貧困、大幅賃上げなどなど、「アベ政治を許さない」立場で、県民各界各層のあらゆる要求を持ち寄る集会として、3月19日(日)13時から福岡市博多区冷泉公園で開催されます。職場の仲間と家族そろってご参加を呼びかけます。

アベ政治を許さない

3月19日

12:30~イベント 13:30~集会 15:00~デモ

冷泉公園 (福岡市博多区上川城町)

⑤福岡県集会 2017

1万人の参加で
集会を成功させよう!

私たちの人権尊厳を破壊している危機的状況を打破して共に生き、分かち合う社会を築いていきましょう
アベ政権を終わらせる 1万人総がかり行動

伊波洋一 (参議院議員、市民連合代表)
豊田勇造 (参議院議員、市民連合代表)

みなさんの賛同金で
3.19集会は開催されます
団体一口 1万円(何口でも可)
個人一口 500円(何口でも可)
活動費としてアベ政権を許さない運動に使ってくださいます。

郵便振込 ぎよなら座福岡
加入番号 ぎよなら座福岡
口座番号 01770-5-71599
他行から ぎよなら座福岡
口座番号 ぎよなら座福岡
口座番号 0071599

わくわく講座のご案内 運動の出発点は学ぶこと

2017年 わくわく講座のご案内

今年もやります「全労連わくわく講座」。昨年は福岡県労連では57の方が受講しました。6月から11月までの半年間、テキスト全5章を1ヵ月1章のペースで学習します。パソコンやスマホを使ってチェックテストや質問・意見なども受けることができます。

労働組合の権利や運営方法、基本的要求や重点課題など、労働組合を初歩から学ぶことができ、受講者からも「わかりやすい」「やる気ができた」など好評の声をいた

だしています。2017受講生募集は4月末まで。若い方の積極的な受講を待っています。

2017年勤労者通信大学

わくわく講座修了生は次なるステップへ
わくわく講座修了生におすすめの通信講座です。「基礎理論」「労働組合」「憲法」の3コースから選んで学習。わくわく講座で学んだことがさらに深まり力になります。4月開校予定で受講生募集中です。いずれも詳細は県労連教育宣伝局までお問い合わせください。

この本 おすすめ 国谷 裕子 著 「キャスターという仕事」

NHK「クロージング現代」のキャスターを23年間務めた国谷裕子氏。テレビという媒体が映像を通して伝える「真実」の危うさ、だからこそキャスターとして「言葉で伝えること」を大切にしているという国谷氏の真摯な姿勢と矜持が示されています。今、政権に

よるメディアへの圧力が強まる中、「クロージング現代」のキャスター降板騒動についても、国谷氏の率直な思いが語られています。安倍政権下でのメディアの現状、本来のあり方を考えさせられる1冊です。

(いつ) ひでき)



岩波新書
2017年1月20日刊
定価840円+税